

基礎研  
レポート「東日本大震災による被害・生活  
環境・復興に関するアンケート」  
2022年調査結果概要

帰還開始後初の双葉町民を対象とする調査(第7回調査)\*

保険研究部 准主任研究員 岩崎 敬子

(03)3512-1882 kiwasaki@nli-research.co.jp

## 1—基本情報

「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」調査は、東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト（東京大学大学院経済学研究科 教授 澤田康幸、ニッセイ基礎研究所 准主任研究員 岩崎敬子）によって、東日本大震災による原子力発電所の事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主の皆様を対象に 2013 年から行われてきた調査である（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月、2020年12月）。双葉町は2022年8月30日に避難指示が解除されたため、今回の調査は、これまで行われた7回の調査で初めて、帰還開始後に行われた調査である。

本稿では、2022年10月に実施した第7回目のアンケート調査の結果概要を報告する<sup>1</sup>。

表1. 基本情報

アンケート配布数	2,900件
アンケート配布日	2022年10月1日
アンケート回収期間	2022年10月1日～2022年11月15日
回答者数	653名
回答率	約22.5%

アンケート調査の項目には、年齢や性別等の基本的な属性の他、人とのつながり（ソーシャル・キャピタル）や健康状態に関する項目が含まれ（調査項目は、本稿末の資料参照）、アンケート調査用紙は、双葉町の広報が配布されているすべての世帯（2,900件）に配布させて頂いた。また、これまでの

\* 第7回調査は、双葉町民を対象とした本継続調査において初めて帰還開始後に行われた調査である。

<sup>1</sup>本研究は、以下の研究助成によって実施されてきた。記して深謝する。

科研費（15J09313、26220502、LZ003）、日本経済研究センター研究奨励金、公益財団法人ユニバーサル財団研究助成  
また、この調査は東京大学倫理委員会の承認（21-329）のもと実施された調査である。

調査で住所・氏名をご記入頂いていた方 617 名へは、これまでの調査と重複した質問を省略した簡易版のアンケート用紙を配布させて頂いた。回答は、全国に避難されている双葉町民 653 名より頂いた（広報双葉同封分からのご回答 292 件、簡易版からのご回答 361 件、回答率約 23%）。

本調査は世帯主の方を対象としており、年齢、性別の分布については図 1、図 2 の通りである。このように、国勢調査による双葉町の年齢・性別分布に比べると、回答者の年齢分布は 60 代後半以上の方が多く、性別の分布は男性の回答者が多いという偏った分布である。加えて、震災という大変な状況が起こった後にご協力いただいた調査なので、回答者の傾向が一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性も考えられる。そのため、本調査の結果が、必ずしも双葉町民全体の傾向を示すものではないことにご留意頂きたい。

図 1. 回答者の年齢分布

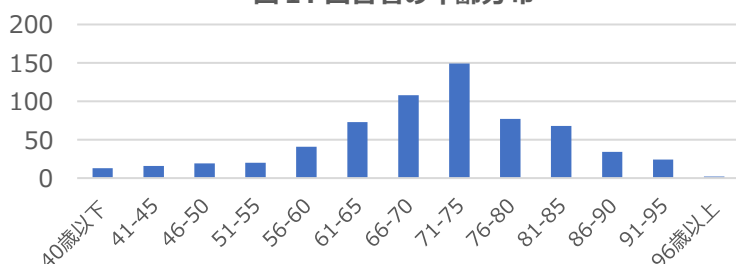
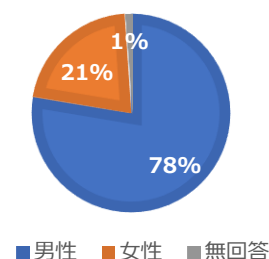


図 2. 回答者の性別



## 2—健康状態について

健康状態について、図 3 にみられるように、震災前の健康状態については、多くの方が「良い」、または「大変良い」と自己評価をされていたが、震災後の健康状態については、多くの方が「悪い」、「大変悪い」、または、「どちらともいえない」と自己評価されている。時系列的に見ると、2016 年の調査以降、2020 年の調査では、「良い」と回答された方の割合が最も多く、「悪い」と回答された方の割合がそれ以前と比べて少なく、全体的に少しずつ改善傾向があることが分かるが、直近の 2020 年から 2022 年にかけては改善が見られなかった。また、図 4 にみられるように、震災前と比較した健康状態の変化についての質問では、半数以上の方が震災前と比較すると健康状態が悪くなっていると自己評価されており、その分布は 2013 年からほとんど変化が見られていないことがわかる。

図 3. 現在の健康状態

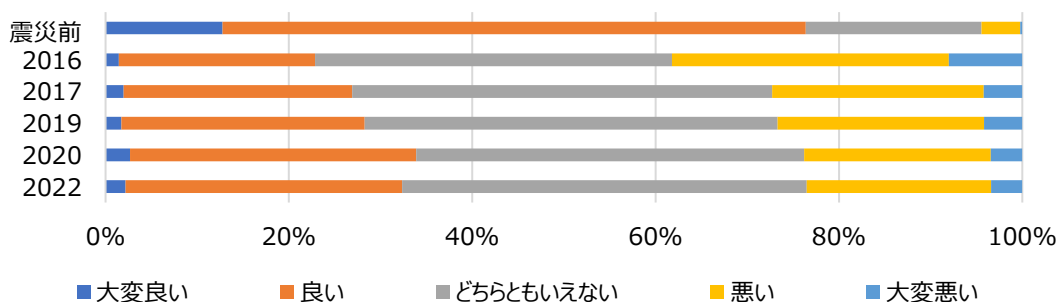
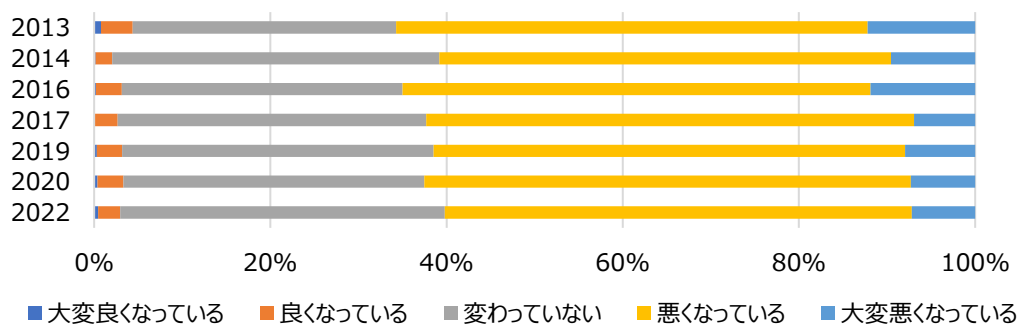


図4. 主観的健康状態の変化



次に、こころの健康状態について、K6 という、国際的に使用されている全般的なこころの健康状態・ストレスを示す指標を用いて概観してみる。K6 は6つの質問から成り、その合計の点数が高いほど、こころにストレスを抱えている可能性が高いと考えられている<sup>2</sup>。双葉町民の K6 値の分布は、2013 年から 2020 年にかけて、少しずつ改善していることが分かる (図 5 参照)。しかし、2020 年から 2022 年にかけては改善の傾向は見られなかった。また、2022 年の値は、日本全体の分布や、双葉町以外の被災地で震災直後に行われた調査と比較すると高い値で、回復には非常に長い時間がかかる可能性があることが分かる。

また、2013 年から 2017 年までの調査では、仮設住宅にお住まいの双葉町民の方の K6 の値の分布が年々高くなっていったことが示されてきた<sup>3</sup>。2019 年以降の調査では、仮設住宅にお住まいの方の回答者はごく少数(2019 年 6 名、2020 年 7 名、2022 年 4 名)だったため、持ち家、みなし仮設住宅および復興公営住宅など仮設住宅以外で、住居種類ごとの K6 の分布を確認した。その結果、図 6 に見られるように、震災前と異なる持家や自費による賃貸にお住まいの方に比べて、復興公営住宅にお住まいの方の K6 の分布は高い傾向があることが示された。また、みなし仮設住宅にお住まいの方の K6 の値が年々高まっている傾向が見られる。こうした結果からは、みなし仮設住宅へお住まいの方や、復興公営住宅に入居されている方へのこころの健康サポートが重要であることが示唆される。また今回の 2022 年の調査は、2013 年以降本調査が開始されてから初めて帰還開始後に行われたことから、震災前からの双葉町の持家にお住まいの方の回答が含まれている。図 6 に参考に分布を記載している。回答数は 11 と少ないが、震災前の双葉町の持家にお住まいの方のストレスについては、比較的低くとどまっている方々 (青色部分) とストレスが高い方々 (灰色部分) に二分化していることが分かる。

<sup>2</sup> Kessler, R. C., Andrews, G., Colpe, L. J., Hiripi, E., Mroczek, D. K., Normand, S. L., Walters, E. E., Zaslavsky, A. M., 2002. Short Screening Scales to Monitor Population Prevalences and Trends in Non-Specific Psychological Distress. *Psychological Medicine* 32, 959-976.

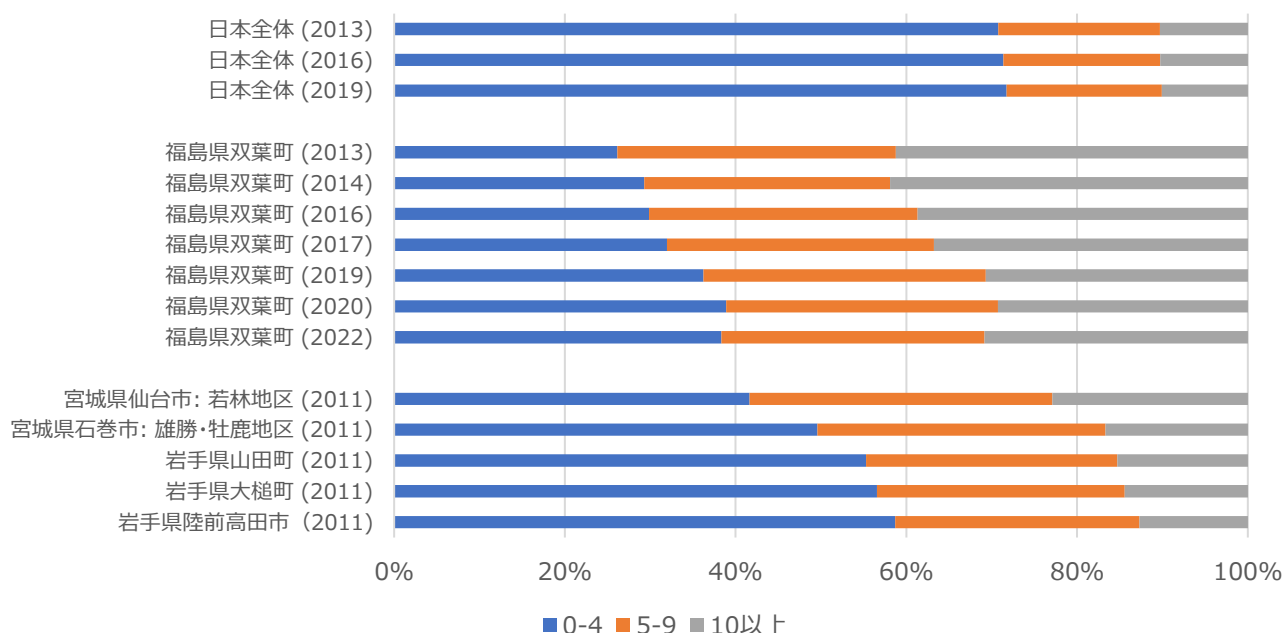
Furukawa, T. A., Kawakami, N., Saitoh, M., Ono, Y., Nakane, Y., Nakamura, Y., Tachimori, H., Iwata, N., Uda, H., Nakane, H., Watanabe, M., Naganuma, Y., Hata, Y., Kobayashi, M., Miyake, Y., Takeshima, T., Kikkawa, T., 2008. The Performance of the Japanese Version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. *International Journal of Methods in Psychiatric Research* 17, 152-158.

古川壽亮 他. (2003). 一般人口中の精神疾患の簡便なスクリーニングに関する研究. 厚生労働科学研究費 補助金厚生労働科学特別研究事業「心の健康問題と対策基盤の実態に関する研究」研究協力報告書.

<sup>3</sup> 岩崎敬子 (2019 年 2 月 7 日) 基礎研レポート ([https://www.nli-research.co.jp/files/topics/63613\\_ext\\_18\\_0.pdf?site=nli](https://www.nli-research.co.jp/files/topics/63613_ext_18_0.pdf?site=nli), 2022 年 12 月 5 日アクセス)

しかしながら、この調査結果が必ずしもすべての双葉町の皆さまに当てはまるわけではなく、K6の値が高いからといって精神的な疾患があると断定されるものではない。あくまで、政策的な示唆を行政などに与えるための調査であることを申し添える。

図5. 日本全体、双葉町、その他被災地の心理的ストレスの度合い (K6) の分布



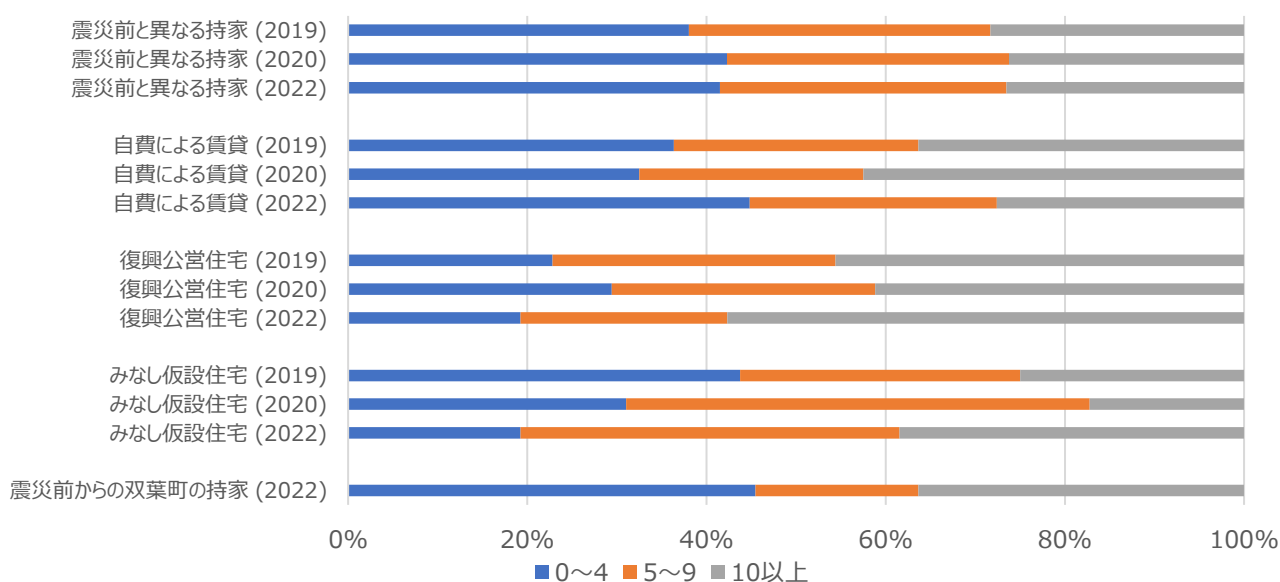
注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すものである。大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。

出典) 双葉: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

日本全体: 国民生活基礎調査 (2013, 2016, 2019)

その他地域: 東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査 (研究代表者: 林謙治) 2012

図6. 住居種類別K6の分布



注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すものである。大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。

出典) 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

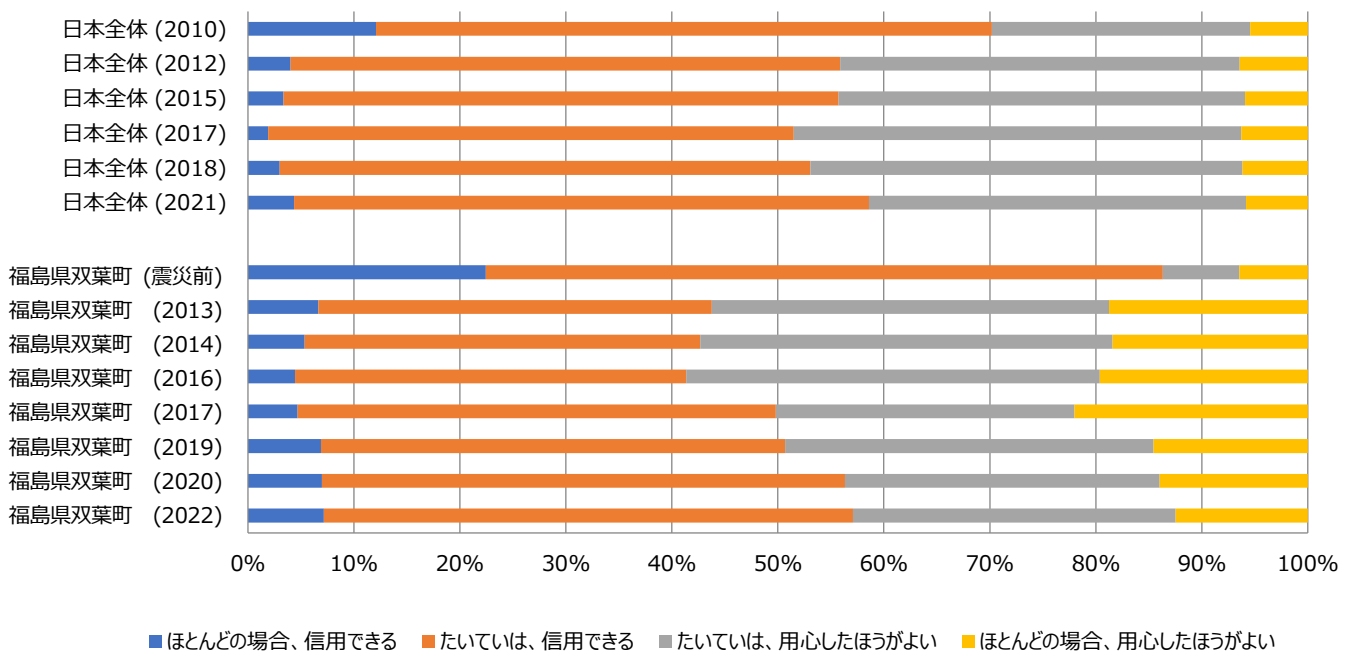
### 3—社会関係資本の変化について

社会関係資本とは、信頼関係やネットワークなどを指し、「きずな」ということばであらわされることもある。この社会関係資本は震災復興の鍵概念として注目されている概念で、本調査でも重点的に分析を行っている。これまで実施させていただいたアンケート調査の分析から、社会関係資本は震災後のこころの健康状態を保つために重要な役割がある可能性がある一方、双葉町では社会関係資本が震災によって弱められている可能性があることが示されてきた<sup>4</sup>。

社会関係資本を図る指標として一般的に使われている指標はいくつかあるが、ここでは3つの項目に注目する。まず、「一般的な人への信頼感」については、2013年から2016年にかけて減少傾向だったが、2017年の調査からは「たいていは信用できる」という回答者の割合が増加傾向で、全体的には日本全体の分布とほとんど変わらないレベルまで回復してきていることが分かる(図7参照)。一方で、震災前の双葉町の高いレベルまでの回復にはまだまだ時間がかかる可能性がある。

図7. 一般的な人への信頼感

「一般的に人は信用できると思いますか。それとも人と付き合うときは、できるだけ用心した方がよいと思いますか。」



出典)：日本全体：日本版 General Social Surveys 2010、2012、2015、2017、2018、2021  
 双葉：東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

また、「近所の人との助け合いの頻度」の指標についても緩やかに回復傾向が見られる(図8参照)。さらに、「近所の人への信頼感」についても、2016年以降は少しずつ回復傾向が見られる(図9参照)が、どちらも非常に緩やかな傾向である。社会関係資本の回復には非常に長い時間がかかり、今後もその変化を長期的に注視してゆくことが重要であると考えている。

<sup>4</sup> Iwasaki, K., Sawada, Y., Aldrich, D., 2017. Social Capital as a Shield against Anxiety among Displaced Residents from Fukushima. *Natural Hazards*. 89.

図8. 近所の人との助け合いの頻度

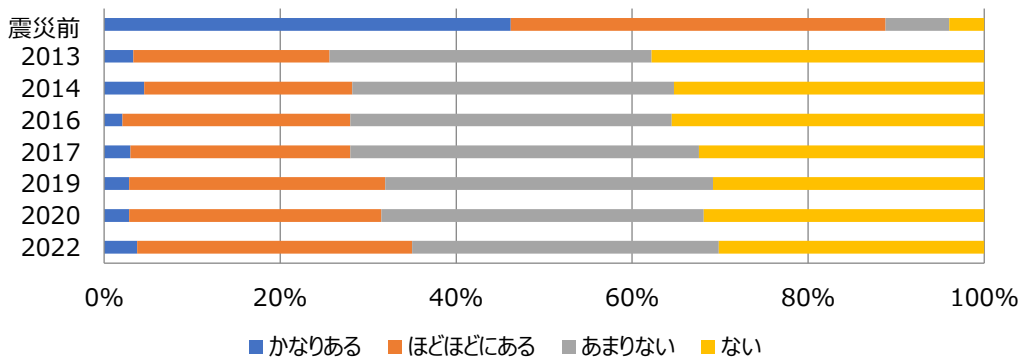
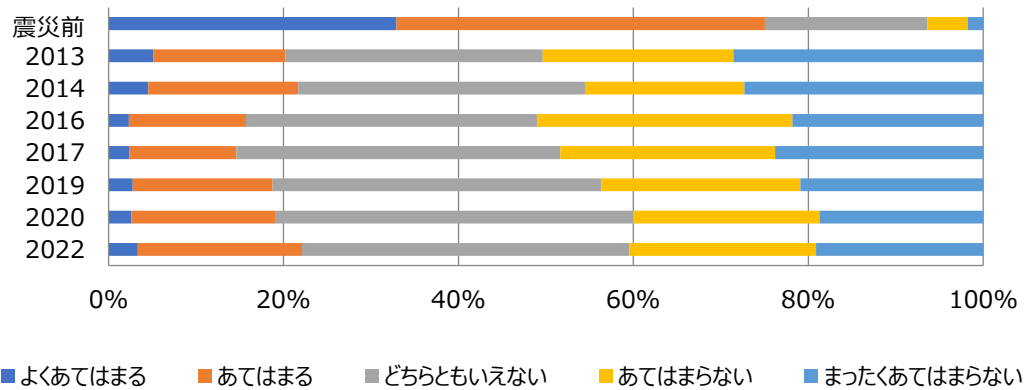


図9. 近所の人への信頼感

「近所の人是我が困っていたら手助けしてくれる。」

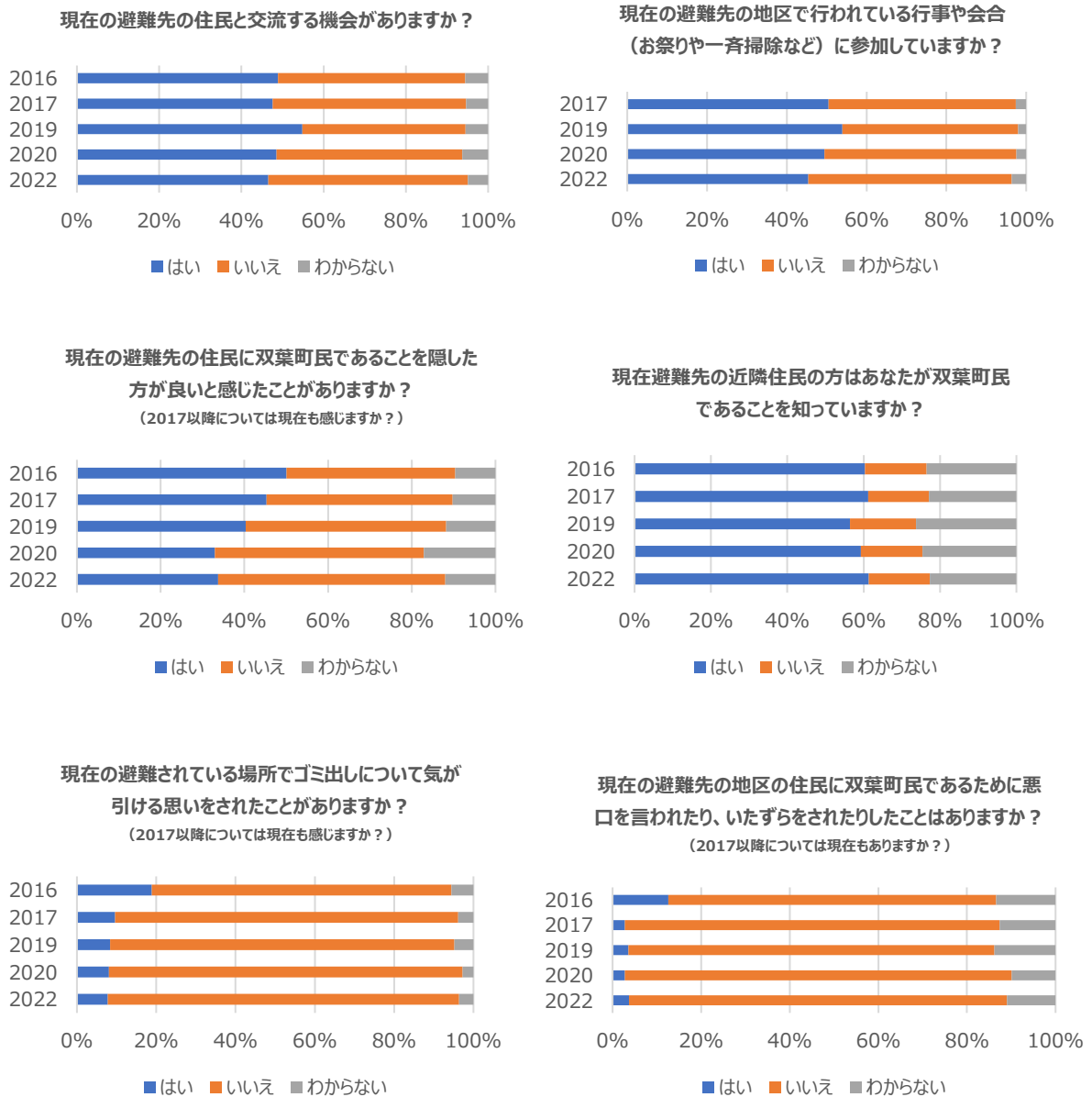


#### 4—避難先の住民の方との関係構築について

長期化する避難生活の中で、避難先の地区の政策や避難先の住民の理解が様々に異なる中での、避難先の住民との新たな関係構築が課題であるというお話を様々な双葉町民の方からお聞かせいただいた。そこで2016年の調査から、避難先の住民の方との関係に関する質問を追加した。図10に示されているように、双葉町民であることを隠した方が良いと現在も感じている方や、ゴミ出しについて気が引ける思いをされている方、双葉町民であるために悪口を言われたり、いたづらをされたりされている方の割合については、減少傾向が見られる。一方で、避難先の住民と交流する機会がある人の割合、避難先の地区で行われている行事へ参加する人の割合、避難先の近隣住民の方が双葉町民であることを知っている人の割合は、2016年から2022年まで、ほとんど変化が見られない。2020年から2022年にかけては、コロナ禍による行事等の減少の影響を受けた可能性も考えられるかもしれない。現在も約50%の方が避難先の住民と交流する機会を持っていない（もしくは持っているかわからない）ことが確認され、避難先の住民との関係構築は、現在も重要な課題であることが分かる。



図 10. 避難先住民の方との関係について



## 5—これまでの7回の調査分析で示唆されたことのまとめ

- (1) 双葉町民のこころの健康状態は他の被災地での調査と比較してもより深刻な状態にある可能性がある。震災から11年以上が経ち、長期的には少しずつ改善傾向が見られてきたが、2020年から2022年の間ではそうした傾向が止まっている。こうした動きから見てみると、回復にはより長い時間がかかる可能性がある。
- (2) 中でも、仮設住宅に長期にお住まいの方のこころの健康状態が深刻な状態に置かれていた可能性があったが、仮設住宅にお住まいの方が少なくなった現在も、みなし仮設住宅の住民の方や、復興公営住宅の住民の方のこころの健康状態は深刻な可能性があり、継続的なサポートが重要と考えられる。

- (3) 震災による健康状態や所得の変化について、悪化・減少幅が大きいほど幸福感も悪化している傾向があり、震災前の幸福感の状態に回復するには十分な補償が必要であると考えられる<sup>5</sup>。
- (4) 震災で双葉町民の社会関係資本が減少させられ、震災後の回復傾向は非常に緩やかであることから、社会関係資本の回復には、今後も長い時間がかかる可能性がある。
- (5) 震災前からのつながりを保つこと、震災後、趣味の会やボランティア活動などに参加することによってこころの健康状態を良好に保つ助けになる可能性がある<sup>6</sup>。
- (6) 避難先の地域の住民との関係構築の進展は、ほとんど進んでいない、もしくは、非常に緩やかで、現在も重要な課題であると考えられる。
- (7) 被災による現在バイアス（先送り傾向）の増大が、こころの健康の悪化につながる可能性があるが、住民同士の交流や規則的な健康行動を促す政策がそうした健康悪化を防ぐ可能性がある<sup>7</sup>。

これらの結果は国内外の学会で発表し、また国際的な学術誌で発表をしてきている。また、これまでの研究結果をまとめ、2021年3月に、『福島原発事故とこころの健康——実証経済学で探る減災・復興の鍵』という書名の書籍を、日本評論社より出版した。今後も分析を進め具体的な提案につなげていく所存である。

本調査結果は、調査にご協力頂いた約23%の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果であり、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではない。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性も考えられる。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、必ずしも双葉町全体の傾向が偏りなく示せていない可能性が考えられる。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要があることに留意が必要である。

<sup>5</sup> Iwasaki, K., Lee, M.J., Sawada, Y., 2019. Verifying Reference-Dependent Utility and Loss Aversion with Fukushima Nuclear-Disaster Natural Experiment, *Journal of the Japanese and International Economies* 52, 78-89.

<sup>6</sup> Iwasaki, K., Sawada, Y., Aldrich, D., 2017. Social Capital as a Shield against Anxiety among Displaced Residents from Fukushima. *Natural Hazards* 89.

<sup>7</sup> Sawada, Y., Iwasaki, K., Ashida, T., 2018. Disasters Aggravate Present Bias Causing Depression: Evidence from the Great East Japan Earthquake, CREPE DISCUSSION PAPER NO. 47.

被災とこころの健康のつながりについての示唆の概要については、以下のレポートのp6を参照。

岩崎敬子（2019.2.7）『東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート』2019年調査結果概要 - 福島県双葉町民を対象とした第5回調査（[https://www.nli-research.co.jp/files/topics/63614\\_ext\\_18\\_0.pdf?site=nli](https://www.nli-research.co.jp/files/topics/63614_ext_18_0.pdf?site=nli), 2023.1.10 アクセス）



**資料： 集計結果**

この調査票を記入していただいているのはどなたですか。

回答	頻度	割合
世帯主本人	499	76.42
配偶者	97	14.85
その他	19	2.91
無回答	38	5.82
合計	653	100.00

**1. 世帯主についてお聞かせください。**

(1) 世帯主の基本的な情報についてお聞かせください。

ア) 年齢 平均: 71 歳 最年長: 99 歳 最年少: 35 歳

イ) 男性: 77.6% 女性: 21.3% 無回答: 1.1%

ウ) 現在のお住まい

全国各地からご回答いただきました。ありがとうございます。  
集計結果は省略させていただきます。

(エ) 世帯主の現在のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め(会社員)	97	14.85
お勤め(公務員)	23	3.52
農業・林業	12	1.84
水産業	0	0.00
開業医、弁護士等の自由業	0	0.00
自営業	22	3.37
アルバイト	31	4.75
家事	30	4.59
定年退職・引退	226	34.61
無職・休職中	165	25.27
その他	34	5.21
無回答	13	1.99
合計	653	100.00

(オ) 世帯主の東日本大震災前のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め(会社員)	137	46.92
お勤め(公務員)	26	8.90
農業・林業	22	7.53
水産業	0	0.00
開業医、弁護士等の自由業	0	0.00
自営業	40	13.70
アルバイト	7	2.40
家事	7	2.40
定年退職・引退	24	8.22
無職・休職中	12	4.11
その他	14	4.79
無回答	3	1.03
合計	292	100.00

(2) 世帯主の現在と震災前のお住まいについてお知らせください。

ア) 現在のお住まいの種類

	頻度	割合
仮設住宅	4	0.61
みなし仮設住宅	28	4.29
復興公営住宅	61	9.34
自費による賃貸	32	4.90
震災前と異なる持家	459	70.29
震災前からの双葉町の持家	11	1.68
親戚の家	20	3.06
社宅	2	0.31
その他	25	3.83
無回答	11	1.68
合計	653	100.00

・復興公営住宅にお住まいの方は申込方法を選択してください。  
省略させていただきます

・復興公営住宅にお住まいでグループ申し込みをされた方は一緒に  
申し込んだ方を選択してください  
省略させていただきます。

イ) 現在のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

宅地面積	頻度	割合
0~100 平米	49	7.50
100~200 平米	78	11.94
200~300 平米	106	16.23
300 平米~	193	29.56
無回答	227	34.76
合計	653	100.00

その他の土地面積	頻度	割合
0~100 平米	41	6.28
100~200 平米	16	2.45
200~300 平米	13	1.99
300 平米~	23	3.52
無回答	560	85.76
合計	653	100.00

住居面積	頻度	割合
0~40 平米	9	1.38
40~80 平米	56	8.58
80~120 平米	140	21.44
120 平米~	197	30.17
無回答	251	38.44
合計	653	100.00

ウ) 東日本大震災前のお住まいの種類

	頻度	割合
持家 (戸建)	229	78.42
持家 (マンション)	2	0.68
賃貸 (戸建)	8	2.74
賃貸 (マンション)	1	0.34
賃貸 (アパート)	7	2.40
公営住宅	21	7.19
社宅	11	3.77
親戚の家に在住	2	0.68
その他	1	0.34
無回答	10	3.42
合計	292	100.00

エ) 震災前のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

宅地面積	頻度	割合
0~100 平米	7	2.40
100~200 平米	17	5.82
200~300 平米	23	7.88
300 平米~	137	46.92
無回答	108	36.99
合計	292	100.00

その他の土地面積	頻度	割合
0~100 平米	7	2.40
100~200 平米	6	2.05
200~300 平米	2	0.68
300 平米~	28	9.59
無回答	249	85.27
合計	292	100.00

住居面積	頻度	割合
0~40 平米	3	1.03
40~80 平米	7	2.40
80~120 平米	22	7.53
120 平米~	129	44.18
無回答	131	44.86
合計	292	100.00

オ) 震災前のお住まいは津波の被害を受けましたか？

	頻度	割合
はい	45	6.89
いいえ	563	86.22
無回答	45	6.89
合計	653	100.00

カ) 地震、津波等による双葉町のお住まいの被害状況

	頻度	割合
全壊	111	17.00
大規模半壊	109	16.69
半壊	195	29.86
一部損壊	130	19.91
大きな被害無	57	8.73
その他	20	3.06
無回答	31	4.75
合計	653	100.00

(3) 東日本大震災後の合計転居回数

	頻度	割合
2 回以内	70	10.72
3~5 回	334	51.15
6~8 回	197	30.17
9 回以上	34	5.21
無回答	18	2.76
合計	653	100.00

(4) これまで復興公営住宅の抽選で外れたことはありますか

	頻度	割合
はい	21	3.22
いいえ	374	57.27
無回答	258	39.51
合計	653	100.00

(5) 世帯主の最終学歴をお知らせください。

	頻度	割合
高校	158	54.11
専門学校	25	8.56
短期大学	12	4.11
大学	44	15.07
その他	37	12.67
無回答	16	5.48
合計	292	100.00

(6) 震災前後の世帯主の家族・親戚の構成をお教えください。

ア) 現在の家族構成についてお伺いします

① 現在ご結婚されていますか？

	頻度	割合
はい	484	74.12
いいえ	49	7.50
離別	40	6.13
死別	61	9.34
無回答	19	2.91
合計	653	100.00

② お子様はいらっしゃいますか？

	頻度	割合
はい	546	83.61
いいえ	82	12.56
無回答	25	3.83
合計	653	100.00

③ お孫さんはいらっしゃいますか？

	頻度	割合
はい	393	60.18
いいえ	209	32.01
無回答	51	7.81
合計	653	100.00

④ ペットはいますか？

	頻度	割合
はい	144	22.05
いいえ	472	72.28
無回答	37	5.67
合計	653	100.00

⑤ 現在同居している家族の人数は世帯主を含めて何名ですか？

	頻度	割合
一人暮らし	121	18.53
2名	263	40.28
3~4名	191	29.25
5名以上	54	8.27
無回答	24	3.68
合計	653	100.00

⑥ 世帯主から見た同居家族全員に○をつけてください

集計結果は省略させていただきます

⑦ 東日本大震災前に同居していた家族の人数は世帯主を含めて何名ですか？

	頻度	割合
一人暮らし	29	9.93
2名	66	22.60
3~4名	98	33.56
5名以上	72	24.66
無回答	27	9.25
合計	292	100.00

⑧ 世帯主から見た東日本大震災前の同居家族全員に○をつけてください

集計結果は省略させていただきます

⑨ 東日本大震災前の同居ご家族のうち震災後亡くなられたご家族はいますか？

	頻度	割合
はい	233	35.68
いいえ	385	58.96
無回答	35	5.36
合計	653	100.00

⇒ 震災関連死の方の該当

	頻度	割合
有り	60	25.75
無し	110	47.21
無回答	63	27.04
合計	233	100.00

(7) 世帯主の現在の健康状態はいかがですか。

	頻度	割合
大変良い	14	2.14
良い	195	29.86
どちらともいえない	285	43.64
悪い	130	19.91
大変悪い	22	3.37
無回答	7	1.07
合計	653	100.00

(8) 現在の健康状態は、震災前と比べるといかがですか。

	頻度	割合
大変良くなっている	3	0.46
良くなっている	16	2.45
変わっていない	236	36.14
悪くなっている	340	52.07
大変悪くなっている	46	7.04
無回答	12	1.84
合計	653	100.00

(9) 過去 30 日間に世帯主はどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

点数基準	全 く な い	少 し き い	た い つ て も い け い
神経過敏に感じましたか。	0	1	2 3 4
絶望的だと感じましたか。	0	1	2 3 4
それぞれ、落ち着かなく感じましたか。	0	1	2 3 4
気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じましたか。	0	1	2 3 4
何をしても骨折りだと感じましたか。	0	1	2 3 4
自分は価値のない人間だと感じましたか。	0	1	2 3 4

合計点数 (K6) 分布：

	頻度	割合
0~4点	235	35.99
5~8点	157	24.04
9~12点	119	18.22
13~16点	64	9.80
17点以上	38	5.82
無回答	40	6.13
合計	653	100.00

(10) あなた(世帯主)は、中学生の時、夏休みに出された宿題をいつごろやるが多かったですか。

	頻度	割合
夏休みが始まるとはじめてのころにやった	56	8.58
どちらかというとはじめてのころにやった	122	18.68
毎日ほぼ均等にやった	69	10.57
どちらかという終わりのころにやった	228	34.92
夏休みの終わりにやりました	109	16.69
やらなかった	15	2.30
夏休みの宿題は無かった	10	1.53
無回答	44	6.74
合計	653	100.00

(11) 被災者の方々の避難生活のための環境の変化に伴い、自宅での料理が困難となり、健康被害が懸念されています。震災前と現在の外食の頻度を教えてください。

震災前： 平均 0.8 回/週 現在： 平均 1.0 回/週

(12) 震災前と比較すると体重の変化はありましたか。

	頻度	割合
増加した	107	16.39
やや増加した	155	23.74
変わっていない	149	22.82
やや減少した	130	19.91
減少した	91	13.94
無回答	21	3.22
合計	653	100.00

(13) 東日本大震災前と現在のおおよその体重と身長をお知らせください。(下記 BMI 値の分布)

	震災前 頻度	現在 頻度
18.5 未満	34	13
18.5~25 未満	359	390
25~30 未満	177	166
30 以上	31	24
無回答	52	60
合計	653	653

(14) 健康問題に関して、被災者の方々の交通の不便による活動の制限が懸念されています。

ア) 震災前と現在の同居家族全体で保有する車の数  
震災前平均： 2.4 台 現在平均： 2.1 台

イ) 震災後、車はご購入になりましたか

	頻度	割合
はい	536	82.08
いいえ	91	13.94
無回答	26	3.98
合計	653	100.00

(15) 東日本大震災前と現在の一日の平均的な睡眠時間を教えてください。

震災前平均： 7.0 時間 現在平均： 6.7 時間

(16) 東日本大震災前と現在の 1 日の喫煙習慣と飲酒習慣を教えてください。

震災前と現在の喫煙習慣

	現在の喫煙				合計
	ほぼ毎日	ときどき	吸わない	無回答	
震災前喫煙	89	7	89	4	189
	8	4	9	0	21
	3	2	379	28	412
	0	0	11	20	31
合計	100	11	488	52	653

震災前と現在の飲酒習慣

	現在の飲酒				合計
	ほぼ毎日	ときどき	飲まない	無回答	
震災前飲酒	159	37	32	4	232
	40	83	58	4	185
	4	12	172	16	204
	2	0	11	19	32
合計	205	132	273	43	653

(17) (近年、「幸福度」の研究が進んでおり、そうした既存研究に従って定型のご質問をさせていただきます。ただし回答は任意です。) 現在、あなた(世帯主)はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。

	頻度	割合
0 (とても不幸)	6	0.92
1	17	2.60
2	27	4.13
3	51	7.81
4	58	8.88
5	156	23.89
6	76	11.64
7	97	14.85
8	80	12.25
9	23	3.52
10 (とても幸せ)	19	2.91
無回答	43	6.58
合計	653	100.00

(18) 震災の前後で寿命がどうなったとお考えですか

	頻度	割合
寿命が短くなった	172	26.34
かわらない	371	56.81
寿命が長くなった	57	8.73
無回答	53	8.12
合計	653	100.00

(19) 何歳くらいまで長生きしたいと思いますか

	頻度	割合
75 歳まで	47	7.20
80 歳まで	98	15.01
85 歳まで	148	22.66
90 歳まで	136	20.83
95 歳まで	48	7.35
100 歳まで	29	4.44
100 歳以上	11	1.68
できるだけ長生きしたい	99	15.16
無回答	37	5.67
合計	653	100.00

2. ご近所付き合いなどについてお聞かせください。

(1) 震災前、世帯主は、双葉町のどちらの大字にお住まいでしたか。

	頻度		割合		
	震災前	現在	震災前	現在	
石熊	8	2.74	鴻草	8	2.74
山田	23	7.88	細谷	6	2.05
松倉	4	1.37	下羽鳥	3	1.03
水沢	1	0.34	中田	1	0.34
目さく	1	0.34	長塚	91	31.36
郡山	18	6.16	両竹	5	1.71
上羽鳥	4	1.37	中浜	1	0.34
新山	53	18.15	中野	3	1.03
寺沢	5	1.71	前田	26	8.90
渋川	1	0.34	無回答	30	10.27
合計			合計	292	100.00

(2) ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったりという関係は震災前はどのくらいありましたか？

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
かなりある	98	24	33.56	3.68
ほどほどにある	148	200	50.68	30.63
あまりない	29	223	9.93	34.15
ない	11	193	3.77	29.56
無回答	6	13	2.05	1.99
合計	292	653	100.0	100.0

(3) 近所の人は私が困っていたら手助けしてくれる。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
よくあてはまる	58	21	19.86	3.22
あてはまる	134	118	45.89	18.07
どちらともいえない	64	235	21.92	35.99
あてはまらない	15	134	5.14	20.52
まったくあてはまらない	10	120	3.42	18.38
無回答	11	25	3.77	3.83
合計	292	653	100.0	100.0

(4) 震災前と震災後の生活について教えてください。

ドアの鍵を開けたまま外出することがよくある。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	136	46	46.58	7.04
いいえ	145	579	49.66	88.67
わからない	4	5	1.37	0.77
無回答	7	23	2.40	3.52
合計	292	653	100.0	100.0

友人にお金やものを貸すことがよくある

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	67	17	22.95	2.60
いいえ	205	602	70.21	92.19
わからない	9	11	3.08	1.68
無回答	11	23	3.77	3.52
合計	292	653	100.0	100.0

不在の双葉町自宅を含め空き巣被害にあったことがある。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	62	183	21.23	28.02
いいえ	194	374	66.44	57.27
わからない	23	69	7.88	10.57
無回答	13	27	4.45	4.13
合計	292	653	100.0	100.0

その他の犯罪被害にあったことがある

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	21	37	7.19	5.67
いいえ	244	538	83.56	82.39
わからない	17	44	5.82	6.74
無回答	10	34	3.42	5.21
合計	292	653	100.00	100.00

ほとんどの人は公平にしようとしていると思う。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	148	240	50.68	36.75
いいえ	36	108	12.33	16.54
わからない	92	267	31.51	40.89
無回答	16	38	5.48	5.82
合計	292	653	100.00	100.00

自分ほまわりから信用されていると思う。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	123	167	42.12	25.57
いいえ	20	52	6.85	7.96
わからない	135	413	46.23	63.25
無回答	14	21	4.79	3.22
合計	292	653	100.00	100.00

(5) 東日本大震災前と現在のボランティア活動や趣味の活動等の参加状況について教えてください。

・ボランティア活動に参加することがある

現在の参加				
	はい	いいえ	無回答	合計
震災前	86	170	6	262
前	31	338	6	375
参加	0	2	14	16
合計	117	510	26	653

・趣味の活動に参加することがある

現在の参加				
	はい	いいえ	無回答	合計
震災前	138	160	7	305
前	42	272	6	320
参加	3	0	25	28
合計	183	432	38	653

・同居家族以外で挨拶する人の平均的な人数

震災前平均：13人 現在平均：6人

(6) 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
ほとんどの場合信用できる	67	43	22.95	6.58
たいていは、信用できる	153	300	52.40	45.94
たいていは、用心したほうがよい	41	183	14.04	28.02
ほとんどの場合、用心したほうがよい	13	75	4.45	11.49
無回答	18	52	6.16	7.96
合計	292	653	100.0	100.0

(7) 東日本大震災前と現在のお考えについて教えてください

・政府は信用できる

	現在					
	強く思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	無回答	合計
震災前	3	7	7	0	0	17
前	1	165	113	43	6	328
参加	0	7	130	63	6	206
全く思わない	0	1	1	60	1	64
無回答	0	0	3	2	37	42
合計	4	182	253	166	48	653

・福島県は信用できる。

	現在					
	強く思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	無回答	合計
震災前	12	18	6	0	1	37
前	13	290	94	14	7	418
参加	1	7	97	25	5	135
全く思わない	0	0	0	23	0	23
無回答	0	3	0	1	36	40
合計	26	318	197	63	49	653

・住んでいる地区の隣人は信用できる。

	現在					
	強く思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	無回答	合計
震災前	12	31	21	11	0	75
前	4	286	115	24	9	438
参加	0	6	64	11	4	85
全く思わない	0	1	0	14	0	15
無回答	1	5	1	0	33	40
合計	17	329	201	60	46	653

(8) 現在の避難先での交流等についてそれぞれお答えください。

1. 現在の避難先の住民と交流する機会がありますか？

	頻度	割合
はい	292	44.72
いいえ	304	46.55
わからない	31	4.75
無回答	26	3.98
合計	653	100.00

2. 現在の避難先の地区で行われている行事や会合(お祭りや一斉掃除など)に参加していますか？

	頻度	割合
はい	288	44.10
いいえ	323	49.46
わからない	23	3.52
無回答	19	2.91
合計	653	100.00

3. 現在の避難先の住民に双葉町民であるということを隠した方がよいと感じたことはありますか？

	頻度	割合
はい	255	39.05
いいえ	315	48.24
わからない	56	8.58
無回答	27	4.13
合計	653	100.00



⇒ 「はい」の方： 現在も感じるがありますか？

	頻度	割合
はい	208	81.57
いいえ	20	7.84
わからない	18	7.06
無回答	9	3.53
合計	255	100.00

4. 現在避難先の近隣住民の方はあなたが双葉町民であることを知っていますか？

	頻度	割合
はい	384	58.81
いいえ	100	15.31
わからない	142	21.75
無回答	27	4.13
合計	653	100.00

5. 現在の避難されている場所でゴミ出しについて気が引ける思いをされたことがありますか？

	頻度	割合
はい	76	11.64
いいえ	536	82.08
わからない	21	3.22
無回答	20	3.06
合計	653	100.00

⇒ 「はい」の方： 現在も感じるがありますか？

	頻度	割合
はい	49	64.47
いいえ	24	31.58
わからない	2	2.63
無回答	1	1.32
合計	76	100.00

6. 現在の避難先の地区の住民に双葉町民であるために悪口を言われたり、いたづらをされたりしたことはありますか？

	頻度	割合
はい	61	9.34
いいえ	504	77.18
わからない	57	8.73
無回答	31	4.75
合計	653	100.00

⇒ 「はい」の方： 現在もされることがありますか？

	頻度	割合
はい	23	37.70
いいえ	24	39.34
わからない	11	18.03
無回答	3	4.92
合計	61	100.00

(9) 仮定の質問ですが、私達の研究グループが「あなた」に5,000円(千円札5枚)を追加でお渡しした場合を思い浮かべてください。「あなた」と、あなたが現在住んでいる地区からくじで選ばれた「相手」との間で、その5,000円(千円札5枚)を分けていただきたいと思います。「あなた」が「相手」と相談せずに配分額を決められるとすれば、あなたはいくら手元に残し、いくら相手にあげますか。お互いの顔や名前は一切わかりません。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	頻度	割合
自分は5,000円、相手に0円	32	4.90
自分は4,000円、相手に1,000円	16	2.45
自分は3,000円、相手に2,000円	223	34.15
自分は2,000円、相手に3,000円	132	20.21
自分は1,000円、相手に4,000円	34	5.21
自分は0円、相手に5,000円	60	9.19
無回答	156	23.89
合計	653	100.00

(10) 東日本大震災後、双葉町での居住地区ごとの総会に参加したことがありますか？

	頻度	割合
はい	320	49.00
いいえ	311	47.63
無回答	22	3.37
合計	653	100.00

(11) 現在の居住地域の双葉町民の集まりに参加したことがありますか？

	頻度	割合
はい	239	36.60
いいえ	386	59.11
無回答	28	4.29
合計	653	100.00

(12) 現在の避難先での知人・友人の数についてそれぞれお答えください。

1. 現在の避難先で近隣に震災前からの知人は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	275	42.11
いいえ	314	48.09
わからない	46	7.04
無回答	18	2.76
合計	653	100.00

2. 現在の避難先で近隣に、双葉町在住時は知り合いでなかったが避難を通して同じ双葉町民として知り合った方は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	213	32.62
いいえ	357	54.67
わからない	58	8.88
無回答	25	3.83
合計	653	100.00

3. 現在の避難先で近隣に親戚は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	271	41.50
いいえ	339	51.91
わからない	14	2.14
無回答	29	4.44
合計	653	100.00

4. 現在の避難先で震災後にできた双葉町民の友人はいますか？

	頻度	割合
はい	158	24.20
いいえ	436	66.77
わからない	22	3.37
無回答	37	5.67
合計	653	100.00

5. 現在の避難先で震災後にできた双葉町以外から避難してきた友人はいますか？

	頻度	割合
はい	158	24.20
いいえ	405	62.02
わからない	57	8.73
無回答	33	5.05
合計	653	100.00

6. 現在の避難先で新しくできた避難先住民の友人はいますか？

	頻度	割合
はい	201	30.78
いいえ	369	56.51
わからない	39	5.97
無回答	44	6.74
合計	653	100.00

(13) 年賀状についてお聞きます。

①今年(2020年)の元旦、あなた(世帯主)が送った年賀状はおよそ何枚でしたか

	頻度	割合
0枚	237	36.29
1~10枚	95	14.55
11~50枚	193	29.56
51枚以上	81	12.40
無回答	47	7.20
合計	653	100.00

※0枚のうち喪中の人57名、普段から送っていない人159名

②今年(2020年)元旦の年賀状を送った方にお聞きます。最も早い年賀状は、いつ頃投函しましたか。

平均 12月23日頃

③東日本大震災前(2011年)の元旦、あなたが送った年賀状はおよそ何枚でしたか。

	頻度	割合
0枚	93	14.24
1~10枚	47	7.20
11~50枚	240	36.75
51枚以上	194	29.71
無回答	79	12.10
合計	653	100.00

※0枚のうち喪中の人12名、普段から送っていない人73名

④震災前(2011年)元旦の年賀状を送った方にお聞きます。最も早い年賀状は、いつ頃投函しましたか。

平均 12月21日頃

3. 今後の生活についてお教えてください。

(1) 世帯主は、将来町に戻るおつもりですか。

	頻度	割合
戻る(双葉町のみに住居)	29	4.44
戻る(避難先と2地域居住)	35	5.36
まだ決められない	152	23.28
戻らない(戻れない)	396	60.64
既に双葉町で生活している	2	0.31
既に2地域居住している	7	1.07
無回答	32	4.90
合計	653	100.00

(2) 町に戻るおつもりの方はそれまでの間、戻らないつもりの方、もしくはまだ決められない方はこれから先長期的に生活する場所を決めていらっしゃいますか

	頻度	割合
決めている	297	45.48
まだ決めていない(わからない)	183	28.02
無回答	173	26.49
合計	653	100.00

(3) 震災前、双葉町には何年間お住まいでしたか？

	頻度	割合
10年未満	51	7.81
10-20年未満	45	6.89
20-50年未満	247	37.83
50年以上	266	40.74
無回答	44	6.74
合計	653	100.00

(4) 震災前将来的に双葉町以外で生活する予定はありましたか。

	頻度	割合
はい	64	9.80
いいえ	546	83.61
無回答	43	6.58
合計	653	100.00

4. 収入についてうかがいます。

(1) 現在の世帯収入

平均： 325 万円 中央値： 250 万円

(2) 震災前の世帯収入

平均： 551 万円 中央値： 500 万円

(3) 震災後に就職活動は行いましたか？

	頻度	割合
はい(就職した)	153	23.43
はい(就職できなかった)	48	7.35
いいえ	330	50.54
無回答	122	18.68
合計	653	100.00

5. 現在の生活で困っていること、日ごろお気づきのこと、感じておられることなどご自由にお書きください。

たくさん大変貴重なご意見を頂きました。  
ありがとうございました。

以上